

注意！
袋入り

070
55
3057

中関町鳥瞰図



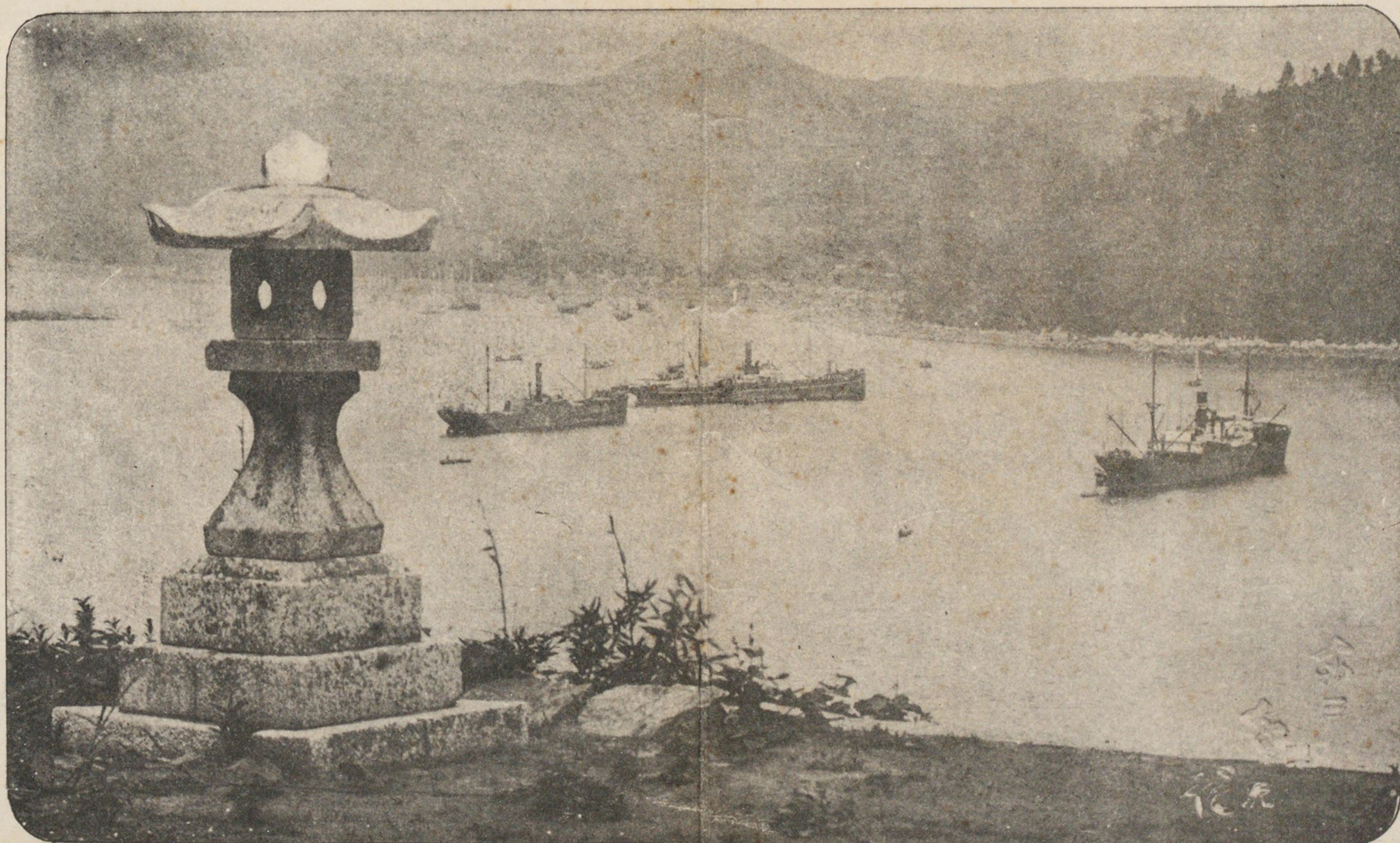
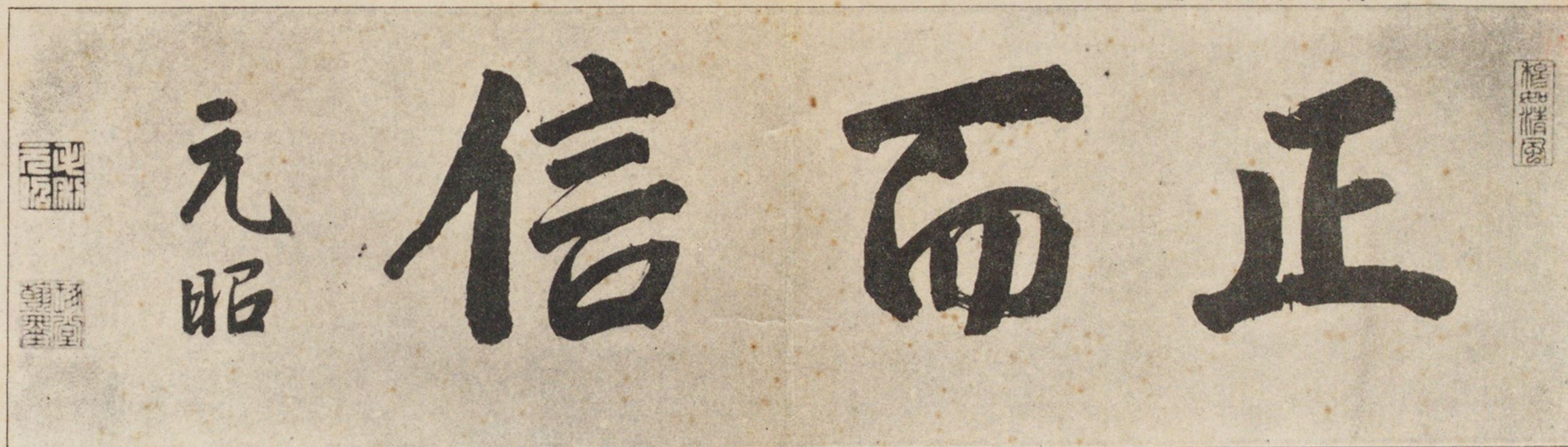
日本第一の製塩地





日本第一製塩地中關白瞰圖

注意圖中
天然記念物棲息地は狸



中關港全景

秋田県立図書館



日本第一製塩地中關島瞰圖

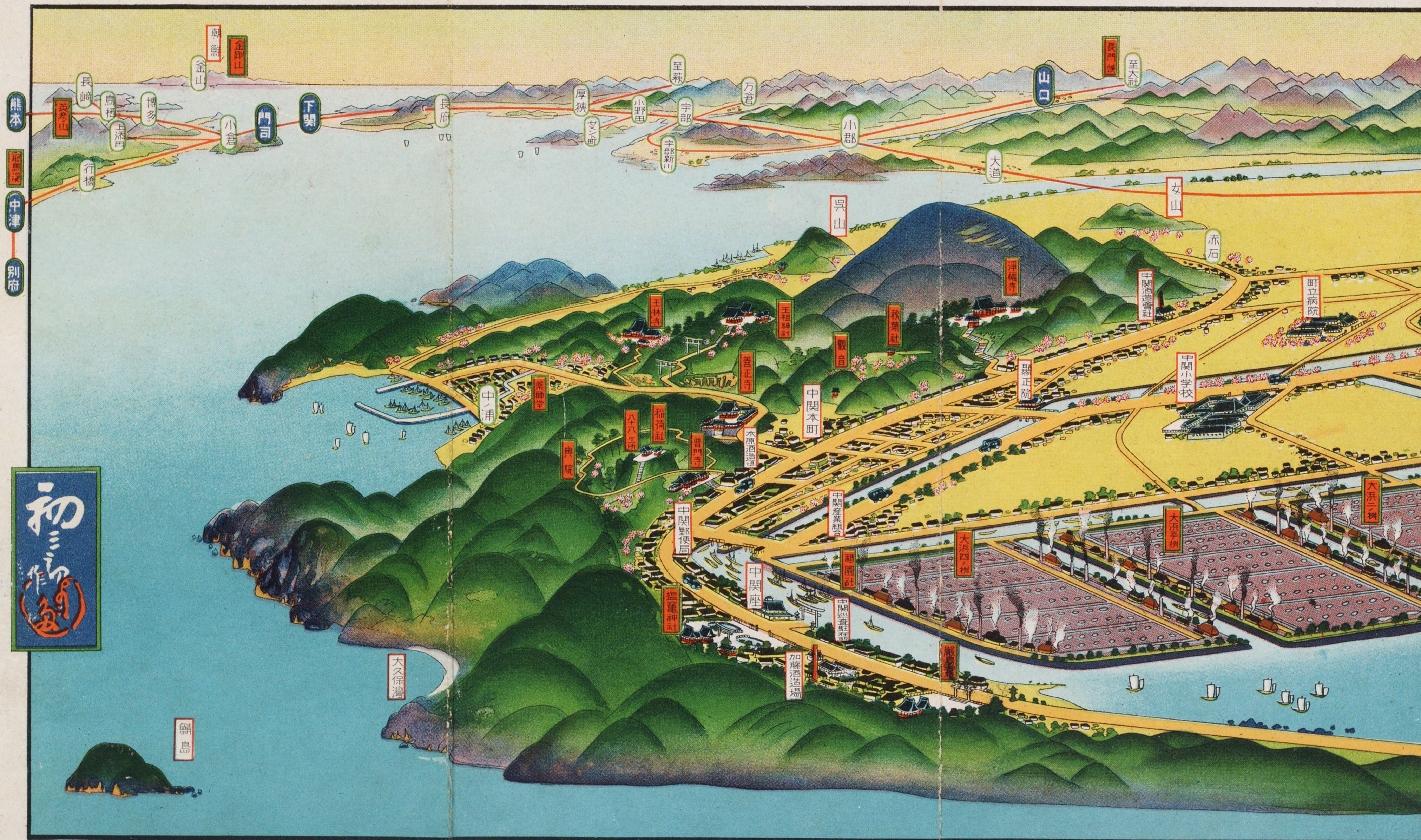
注意圖中
天然記念物棲息地付録

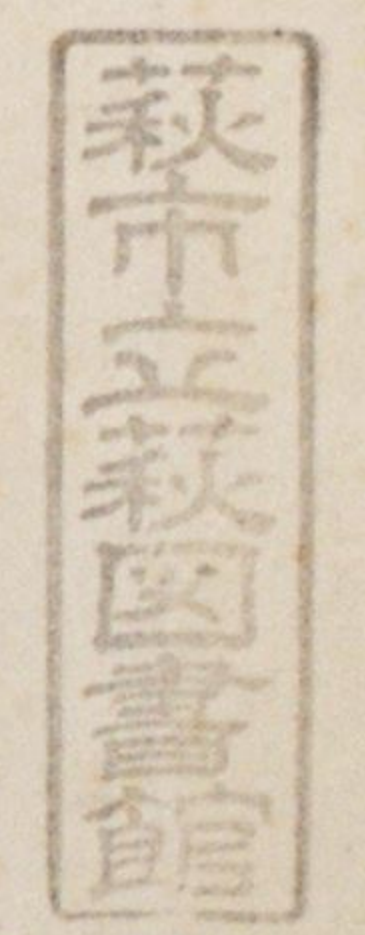
面





面



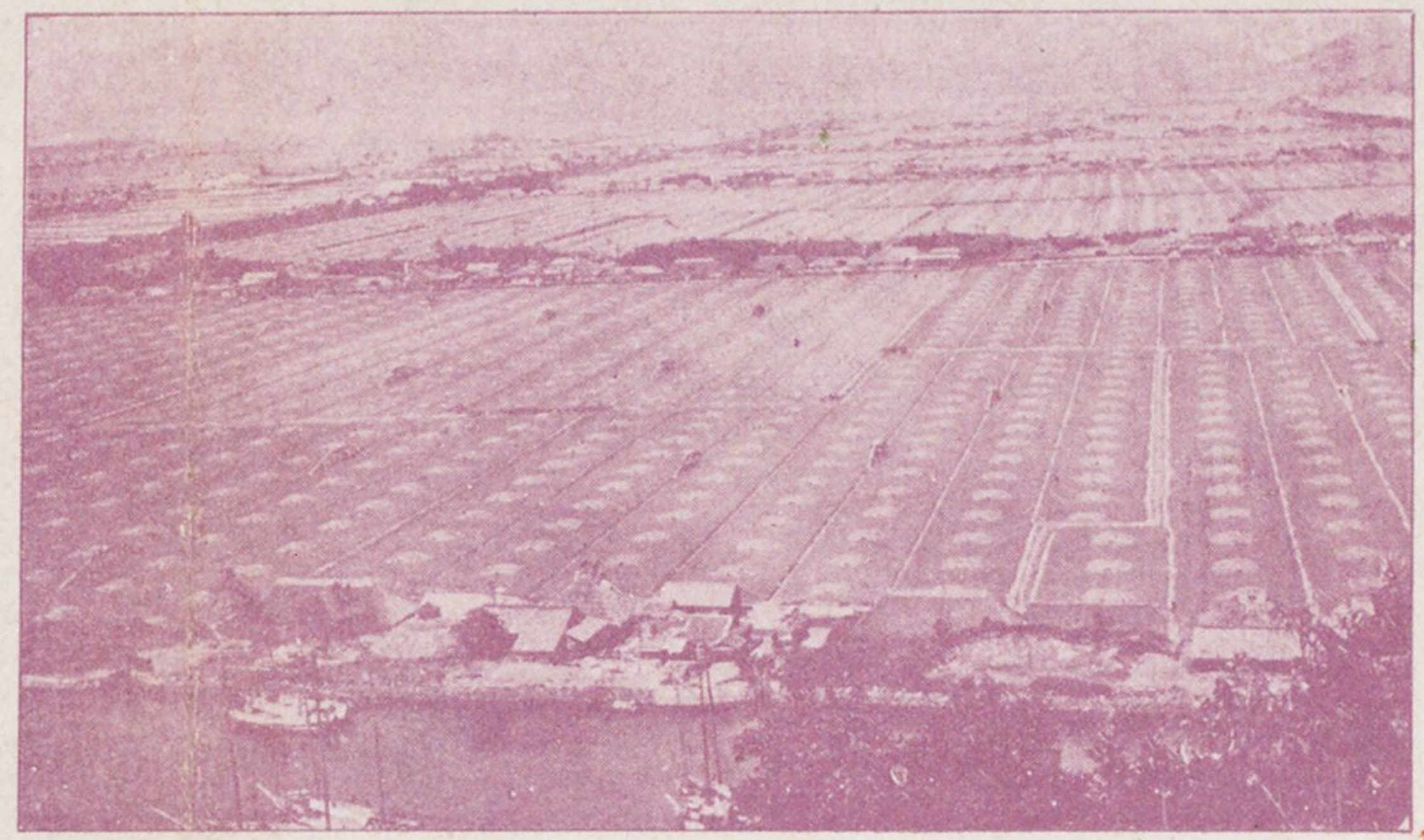


日本第一 中關町案内

中關町役場編

【中關町】……▲本町は山口縣周防國佐波郡の南端中央部海岸に沿ひ、東北は防府町並に華城村に接し、西部は山嶺を以て西浦村に境す。南方は瀬戸内海たる周防灘に面し、本郡南部の極東沿海町として一の市邑を爲せる一大平坦地にして、本土と二の嶋嶼を以て一町を爲す。東西三十四町南北一里二十町あり。明治十七年田島村、濱方村、向島村の三ヶ村を合併して一村と爲し、田島村外一ヶ村島戸長役場とし、明治二十二年町制實施と共に中關町と改稱せり。以上の三ヶ村を各大字とし現時大字田島、濱方、向島と稱し町内行政區を二十五區とす。大正十五年十一月一日中關町と改稱す。

(田島尻田三稱通) 景全田鹽關中



▲安永五年毛利重就公海面埋立事業を完成せられ、本町沿岸に三百町歩の鹽田を開墾し本縣下唯一の産業地とせられてより、下關、中關、上ノ關を以て、往昔海運全盛の際周防灘東西三十八里中約十八里を距つる防長兩國三ヶの關と稱し、舊藩政時代御撫育なる毛利藩の産業助長機關此中關に設けられ、其御撫育なる機關に附屬の越前倉庫なる宏大なる倉庫數棟存立し、係の藩吏常勤の上地方産業資金の總倉庫事業の經營あり。當時の中ノ關は縣下に於て本藩産業上の一大樞要地なりしと共に、瀬戸内海中にて食鹽の大量産地として北陸地方より來航する所謂千石船、其他各地より來集する者に慰安を與ふる爲め、演劇興行並に三業地に指定せられ、千兩芝居を見んと思はば防長兩國中下關を除く外皆此地に來集し盛衰を極め居りしに、年々運搬機關の進展に伴ひ、現在には鹽專賣法實施せられ、海運は四五千噸級の大汽船を以て北陸北海全國樞要地に廻送し、近縣各地は三田尻驛に搬出し鐵道を以て輸送し、明治三十八年三田尻地方專賣局並に製鹽試驗場を設置せられ、同試驗場は全國唯一無二の政府食鹽改良を主とする機械的宏壯なる製鹽法にして、專賣局は政府財政緊縮に伴ひ出張所と改められ廣島地方專賣局の管轄に屬したるも、明治四十二年向島に再製鹽工場を新設せられ、關東州鹽を移入再製し、内地鹽の缺乏補給と國家有事の際に於ける大量製鹽機關として是亦全國唯一無二、且つ世界的大機械の据付ある一大工場たり。

▲又中關港は全國中務省土木局の調査指定せる百五十三港の一にして、本縣下主要七港の一に包含され、船舶出入噸數の第四位にあり。今後僅かなる修築改良を加へば一大良港たらん。全町戸數二千六百五十五戸、人口一萬三千三百三十二人にして本縣下二百二十ヶ町村中の第十位に在り、今や鐵道と港灣との連絡を計劃し、將來有爲の一大都市たらんことを遂成せんと思す。本町平坦地域には無限の地下水湧出ありて如何なる大工場を建設するも後顧の憂なき天恵地たり。本町主要事項其他産業施設追次記載の如し。

【官衙】……▲廣島地方專賣局三田尻出張所は本町にありて專賣局副參事所長たり。

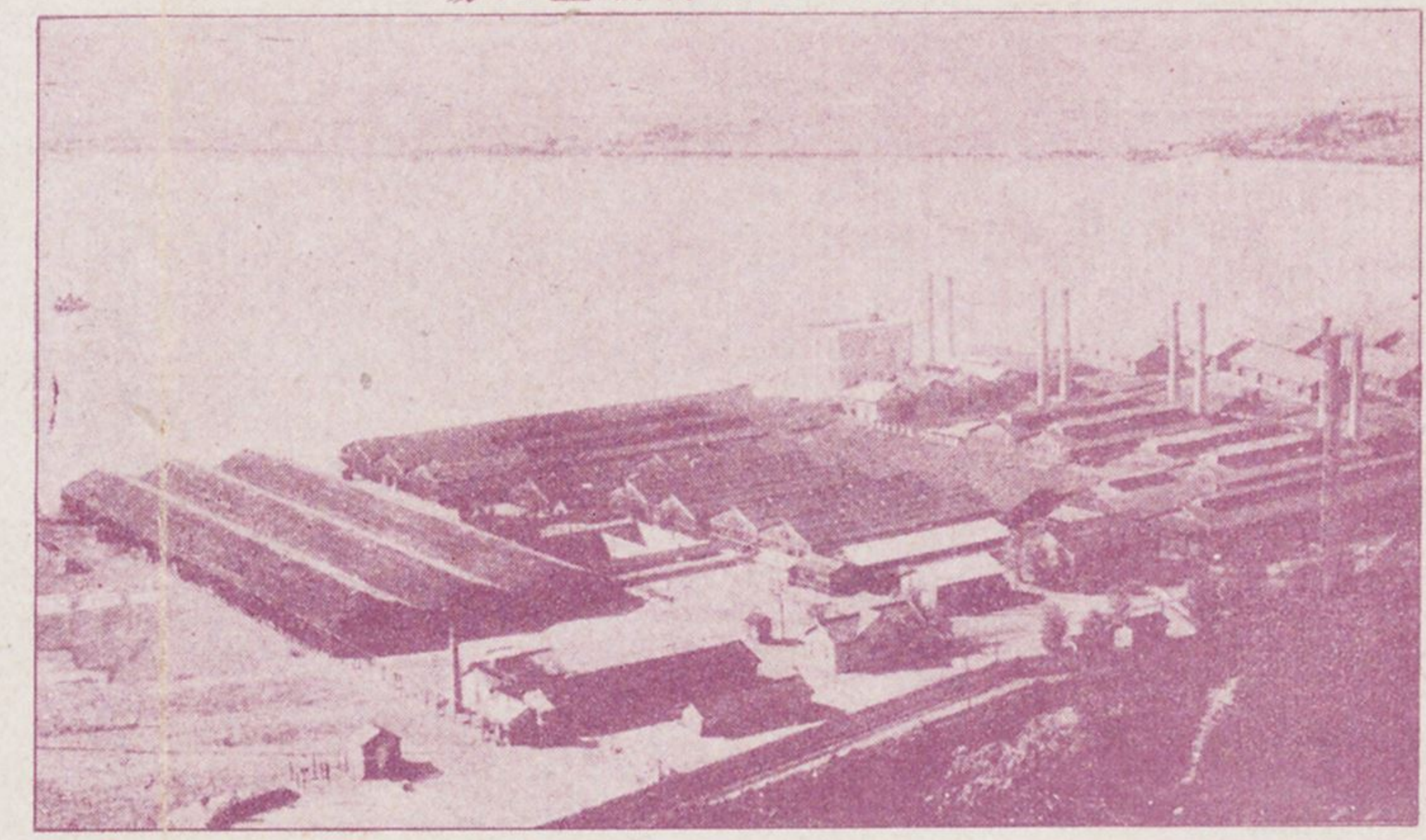
▲專賣局三田尻製鹽試驗場あり全國唯一無二の食鹽改良試驗と製鹽業者子弟の指導講習を爲し、宏大なる機械設備を爲し、年間製鹽と分析事務を管掌す、專賣局技師場長たり。

▲專賣局向島再製鹽工場は日本唯一の工場たり。真空式製鹽器は大正十五年之れを英國に注文し据付けを爲し、電力應用を以て連轉し、工費四拾萬圓を要したり。其製鹽能力は偉大にして同工場内配管延長三萬四千六百八十呎あり、年間製鹽價格百萬圓餘にして其設備巧妙は全國企業界の最新設備と云はれ有識者の未だ識る者稀なるものなり。

▲郵便局は町内中關と新前町の二局あり、配達事務なきも電信電話其他一般の事務を管掌す。

▲銀行は百十銀行中關支店新前町に在り。本店は下關市に在りて資本金七百萬圓を擁す。同支店は銀行一般の業務を爲し、本町を中心とし附近町村の地方金融機關たり、山口縣本金庫事務をも取扱ひ居り。最近一ヶ年間同支店取扱に係る預金貳百五拾七萬七千七百參拾貳圓、同拂出貳百五拾六萬貳千七百五拾參圓、貸出五拾貳萬六千八百參拾五圓、同戻入五拾六萬七千七百五拾九圓にして地方の信用最も厚し。

場工鹽製再關中局賣專



▲華浦銀行中關出張所新前町に在り、本店を防府町に有し、資本金貳百萬圓にして同出張所は銀行一般の業務を爲し、本町を中心とし附近一般の地方金融機關たり。最近一ヶ年間同出張所の取扱ひたる延金額受入參百七拾萬八千七百六拾圓、拂出し參百七拾萬參千五拾圓にして地方の信用最も厚し。

【産業組合】……▲本町内に三組合あり。

イ 三田尻鹽田信用購買販賣利用組合あり、最近一ヶ年間中取扱金收入支出各金四百貳萬八千參百七拾餘圓なり。

ロ 中關信用購買販賣利用組合あり、最近一ヶ年間中取扱受入金百五萬參千圓參百六拾圓、拂出金九拾八萬四千四百貳拾圓なり。

ハ 向島信用購買販賣利用組合あり、大正十二年の創立にして日淺きも一ヶ年間取扱受入金參拾七萬七千五百拾六圓、拂出金參拾四萬貳千拾六圓あり。

【諸會社】……イ 日本食鹽運送株式會社中關支店あり、本店は神戸市にあり、日本全國食鹽の運送請負を業務とし最近一ヶ年間本町支店の取扱に係る純益金七萬五千五百圓あり。同會社本店及び全國に散在せる支店の純益偉大にして、政府食鹽運送事業にて同會社の内容確實なるを知るべし。

ロ 三田尻鹽田商事株式會社あり、外鹽の輸入、三田尻鹽田製鹽の輸出船積等を社業とし、且つ官鹽製鹽に要する石炭の供給請負並に土木建築請負業を兼業し内容確實なり。

【學校・圖書館】……町立小學校三校、實業補習學校三あり。

▲中關尋常高等小學校、二十三學級にして児童一千四百名あり、同校内に女子實業補習學校と夜間男子部實業補習學校を併置す、且つ御眞影奉安所、町立忠魂碑、圖書館を同校庭に設置す。

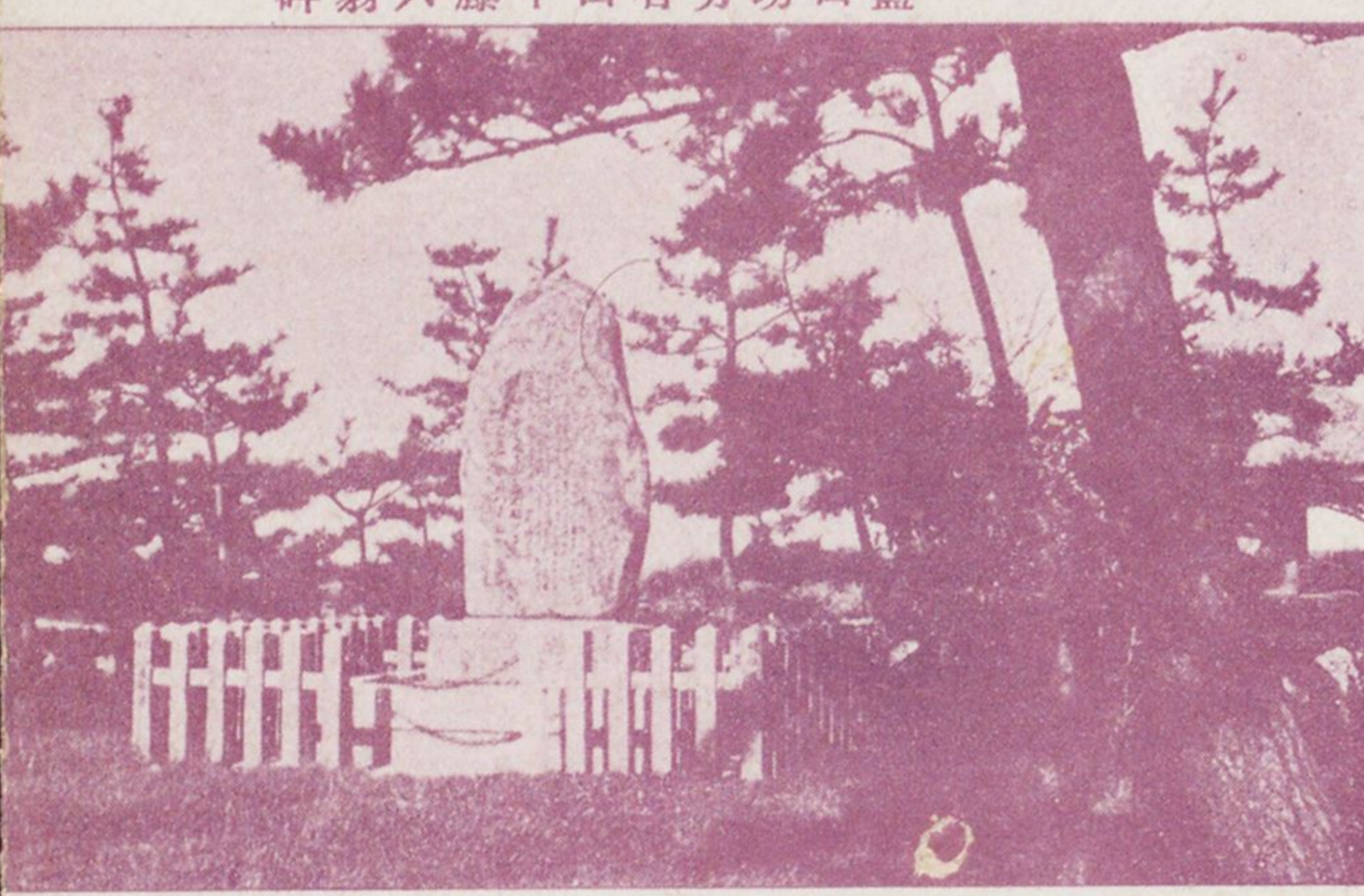
▲向島尋常高等小學校、十一學級にして児童六百名あり、夜間男子部實業補習學校を併置す、昭和三年御大典記念として掲寫の御眞影奉安所を建築す。

▲華南圖書館、町立にして中關小學校内に建設す、本館は本町出身故海軍大尉尾中治君日露戰役の際旅順口にて戰死せられ、令兄尾中郁太氏は記念の爲め賜金全部を寄附せられ新築せしものにして、爾來内外完備し縣下町村立圖書館として首位を占むる所なりしに、大正十一年火災に罹り館全部を焼失したるも尾中郁太氏は素志を繼承し、再建費五千圓餘を寄附せられ、同十四年落成す。尙ほ其際現滿鐵理事田邊敏行氏は故尾中大尉と友人なりしと同校出身の故を以て金壹千圓を寄附せられ、書庫建築費に充用し尙ほ尾中氏親族知己よりも多額の寄附あり之れに町費を合し、煉瓦造二階建不燃質の完備せる書庫を建築せり。爾來内外完備せるの故を以て昭和三年二月十一日紀元節の佳辰に際し文部省より表彰せられ金五拾圓を下賜せられ本町名譽の記念圖書館たり。

【神社】……▲郷社玉祖神社……祭神玉祖命を祀る、文政二年本郡右田村國幣中社玉祖神社より御靈を分祀したるものにして明治六年郷社に列せらる。中浦嶺頂上に鎮座、境内老樹鬱蒼、南は周防灘を俯瞰し北東は防府大平野を眺め風景絶佳なり。

▲村社嚴島神社……祭神田心姫命、湍津姫命、市杵島姫を祀る。明和三年本町鹽田築立と同時に安藝嚴島より御靈を分祀したるものにして明治六年村社に列せらる。中關本町南端海岸に鎮座、南方中關港を望み夏季殊に風景絶佳なり。

碑翁六藤中田者勞功田鹽

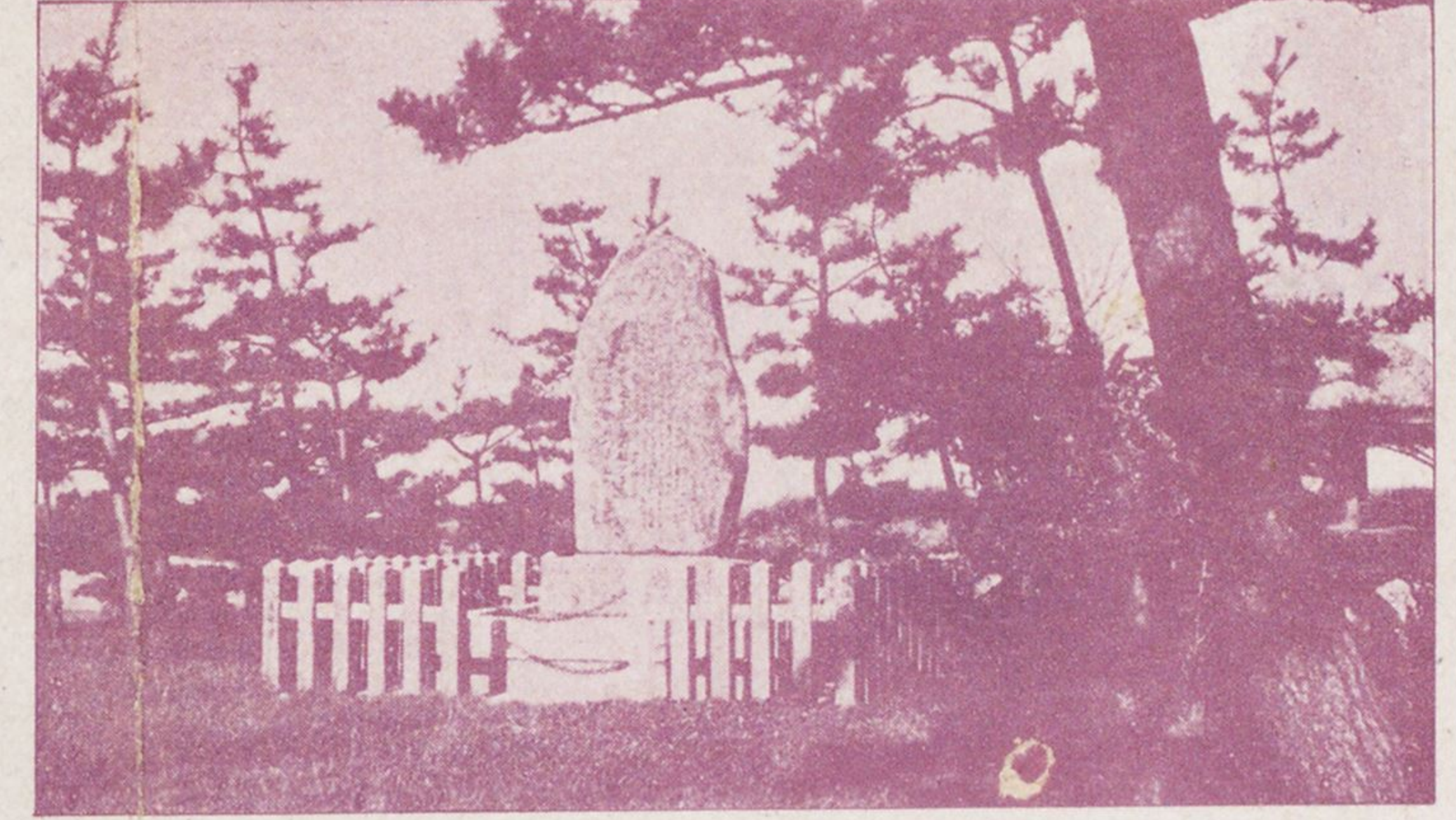


▲村社鹽竈老翁……祭神鹽竈老翁、猿田彦大神を祀る。明和五年陸奥國鹽竈神社より御靈を分祀し、本町製鹽業者の崇敬する神社にして明治六年村社に列せらる。中關本町中央に鎮座境内老樹鬱鬱し風

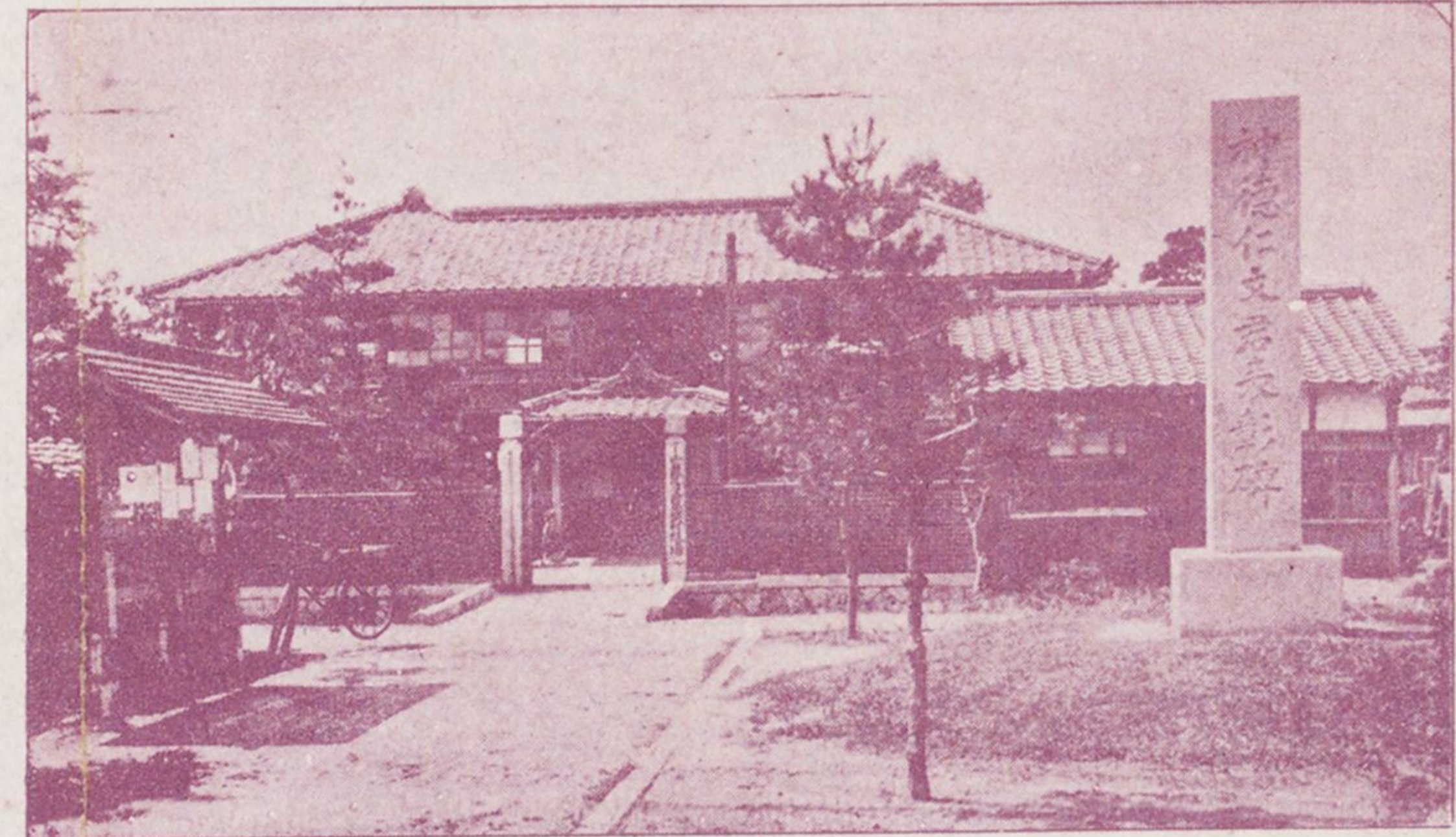


秋田県立図書館

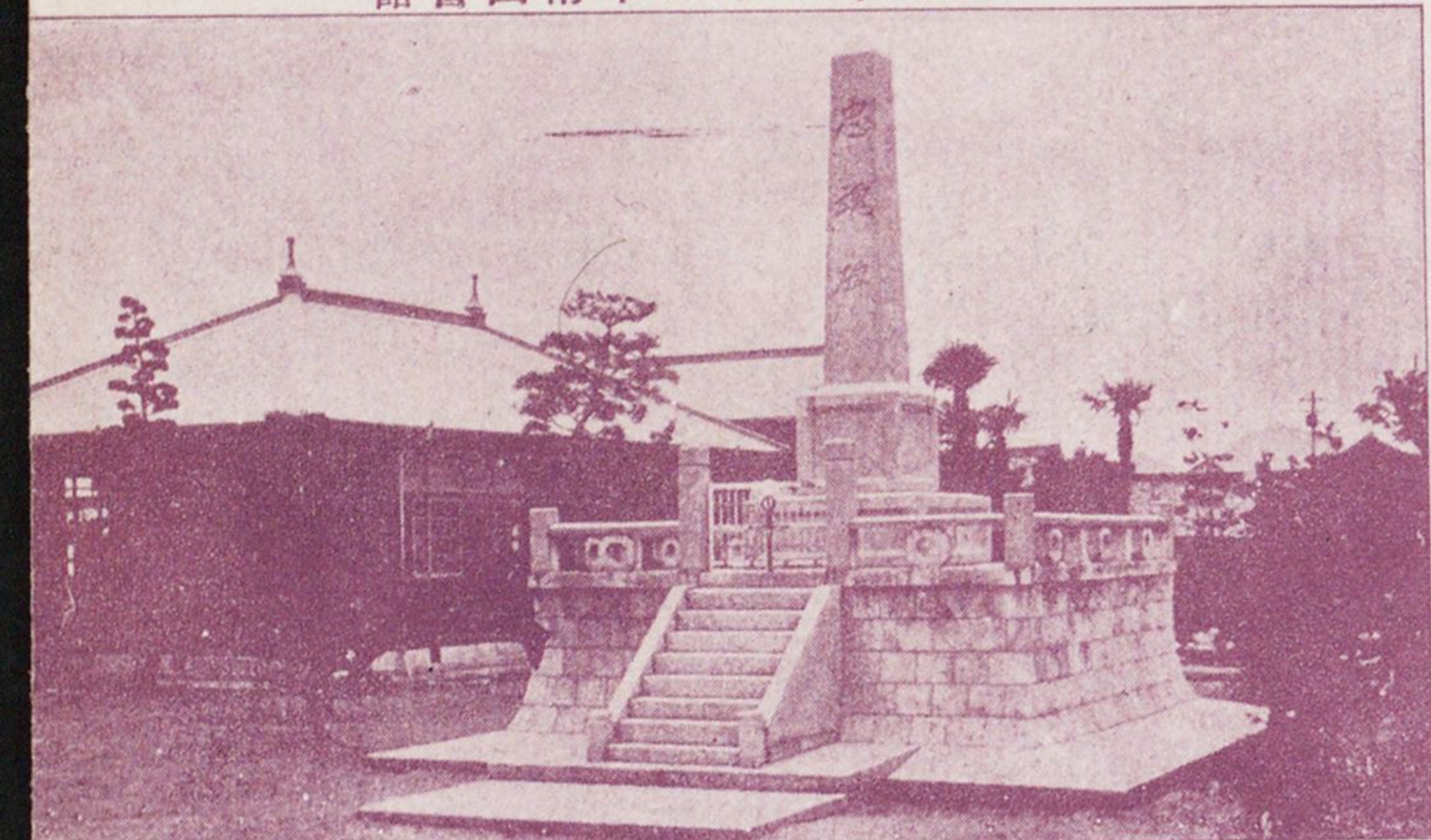
田關功勞者中藤六翁碑



町役場並に神徳仁文君碑



忠魂碑と立華南圖書館



千五百拾六圓、拂出金拾四萬貳千拾六圓あり。

【諸會社】……日本食鹽運送株式會社中關支店あり、本店は神戸市にあり、日本全國食鹽の運送請負を業務とし最近一ケ年間本町支店の取扱に係る純益金七萬五千五百圓あり。同會社本店及び全國に散在せる支店の純益金大にして、政府食鹽運送事業に同會社の内容確實なるを知るべし。

（三）田關功勞者中藤六翁碑、外關の輸入、三田尻鹽田製鹽の輸出船積等を社業とし、且つ官鹽製鹽に要する石炭の供給請負並に土木建築請負業を兼業とし内容確實なり。

【學校・圖書館】……町立小學校二校、實業補習學校三あり。

中關尋常高等小學校、二十三學級にして児童一千四百名あり、同校内に女子實業補習學校と夜間男子部實業補習學校を併置す、且つ御眞影奉安所、町立忠魂碑、圖書館を同校庭に設置す。

向島尋常高等小學校、十一學級にして児童六百名あり、夜間男子部實業補習學校を併置す、昭和三年御大典記念として掲寫の御眞影奉安所を建築す。

華南圖書館、町立にして中關小學校内に建設す、本館は本町出身海軍大尉尾中謙治君日露戰役の際旅順口にて戰死せられ、令兄尾中郁太郎氏は記念の爲め賜金全部を寄附せられ新築せしものにして、爾來内外完備し縣下町立圖書館として首位を占むる所なり。大正十一年火災に罹り館全部を焼失したるも尾中郁太郎氏は素志を繼承し、再建費五千圓餘を寄附せられ、同十四年落成す。尙ほ其際現滿鐵理事田邊敏行氏は故尾中大尉と友人なりしと同校出身の故を以て金壹千圓を寄附せられ、書庫建築費に充用し尙ほ尾中氏親族知已よりも多額の寄附あり之れに町費を合し、煉瓦造二階建不燃質の完備せる書庫を建築せり。爾來内外完備せるの故を以て昭和三年二月十一日紀元節の佳辰に際し文部省より表彰せられ金五拾圓を下賜せられ本町名譽の記念圖書館たり。

【神社】……郷社玉祖神社……祭神玉祖命を祀る、文政二年本郡右田村國幣中社玉祖神社より御靈を分祀したるものにして明治六年郷社に列せらる。中浦新頂上に鎮座、境内老樹鬱鬱、南は周防灘を俯瞰し北東は防府大平野を眺め風景絶佳なり。

村社嚴島神社……祭神田心姫命、湍津姫命、市杵島姫命を祀る。明和三年本町鹽田築立と同時に安藝殿島より御靈を分祀したるものにして明治六年村社に列せらる。中關本町南端海岸に鎮座、南方中關港を望み夏季殊に風景絶佳なり。

村社鹽竈神社……祭神鹽老翁、猿田彦大神を祀る。明和五年陸奥國鹽竈神社より御靈を分祀し、本町製鹽業者の崇敬する神社にして明治六年村社に列せらる。中關本町中央に鎮座境内老樹鬱鬱し風景絶佳なり。

村社磯崎神社……祭神市杵島姫命、火産靈命、湍津姫命を祀る。文政八年本郡牟禮村より移轉建立し明治六年村社に列せらる。本町中央新前町に鎮座す、大正十四年神殿全部を檜材にて改築す、境内老松森列莊嚴にして風景佳良なり。

村社嚴島神社……祭神市杵島姫命を祀る。推古天皇元年創立向島森鎮座、景雲三年向島宮郷々崎に遷座、境内老樹森列南方三田尻港を望み、北方防府大平野を眺め、附近海岸白砂海水清麗にして海水浴場に好適す、風景絶佳なり。

【佛閣】……善正寺……真宗本願寺派にして天文十一年の創建なり、中關本町の北端高地に在り眺望絶佳なり。

正善寺……真宗本願寺派にして文祿元年の創建なり本町新前町中央に在り。

淨福寺……黄檗宗にして寶曆六年の創建なり、本町向島山の山腹に在り、本町一圓を眺望し中關港灣を俯瞰し風景絶佳なり。

西福寺……真宗本願寺派にして正徳六年の創建なり、本町向島の北面の山腹に在り防府大平野を眺望し風景絶佳なり。

普門寺……真言宗にして元祿九年の創建なり、中關本町中央山麓に在りて眺望佳なり。

玉林寺……曹洞宗にして創建尤も古く其年月日をを知るを得ず、中浦北方山腹に在りて周防灘を瞰望し風景絶佳なり。

【記念碑】……贈從五位白和翁故田中藤六君碑……三田尻鹽田は中關鹽田の通稱なり、往時より全國に有名の食鹽産地たり、其事業たるや盛衰の變遷あり、一時鹽業大に衰微し鹽田は荒廢して其術を施すに由なく、各藩之れが救済の途に窮し、終に政府令を下し普く之れが救済の策を求む、于時田中藤六翁中關鹽田經營者たり、平素痛く其救済方法を研究しつ、在りし折柄、翁は其考案に係る三八法と換持法の有益なるを建議したるを以て、藩及政府は吏を派し、翁に其理由を諮問して結果の有益なるを認め其議を採用せらる、に至り、翁は縣下當業者を遊説する僅か旬日にして防長數百の鹽業者を説服し、盟を固くし、引續き他藩の鹽業者を遊説賛同を求め、茲に十州鹽田同盟の端緒を開き、爾來之れを共同永續するに至り、鹽業の基礎確立し收益を見るに至れり。是れ翁が偉大なる功績によるところ、一般より鹽業界の功勞者と唱へ尊敬するに至れる所以なり。翁故人となり大正四年十一月十日、大正天皇御即位御大禮の際、畏くも特旨を以て贈從五位に叙せらる。碑は中關鹽田大會所附近に公園を設け中央に建立し以て後世に傳ふ。

神徳仁文碑……明治十七年本町が元三ヶ村を合併し中關村としたる時選ばれて村長となり、明治二十二年町制施行の際續て膺選、以來明治四十二年五月迄勤続二十五年の久しきに及び、老耄の故を以て辭職せり。氏在职中勞功ありて叙勳賜金の光榮を荷ふ、町は氏在职中の功勞に對し永久不朽の碑を町役場門前に建設し後世に傳ふ。

忠魂碑……本町出身軍人軍屬の内、明治二十七八年戰役以後戰病死者にして、靖國神社に合祀の光榮を賜はれたる英靈を町に於て重て祭祀、其盡忠報國の美名を不朽に傳へて以て之を慰め、永久に其忠勇義烈の偉風を敬仰欽慕し、國民教育上に資せん爲め、中關小學校々庭に高さ二丈六尺餘にして碑文は元帥長谷川好道閣下に請ひ、大正四年御大典記念事業として建設し後世に傳ふ。

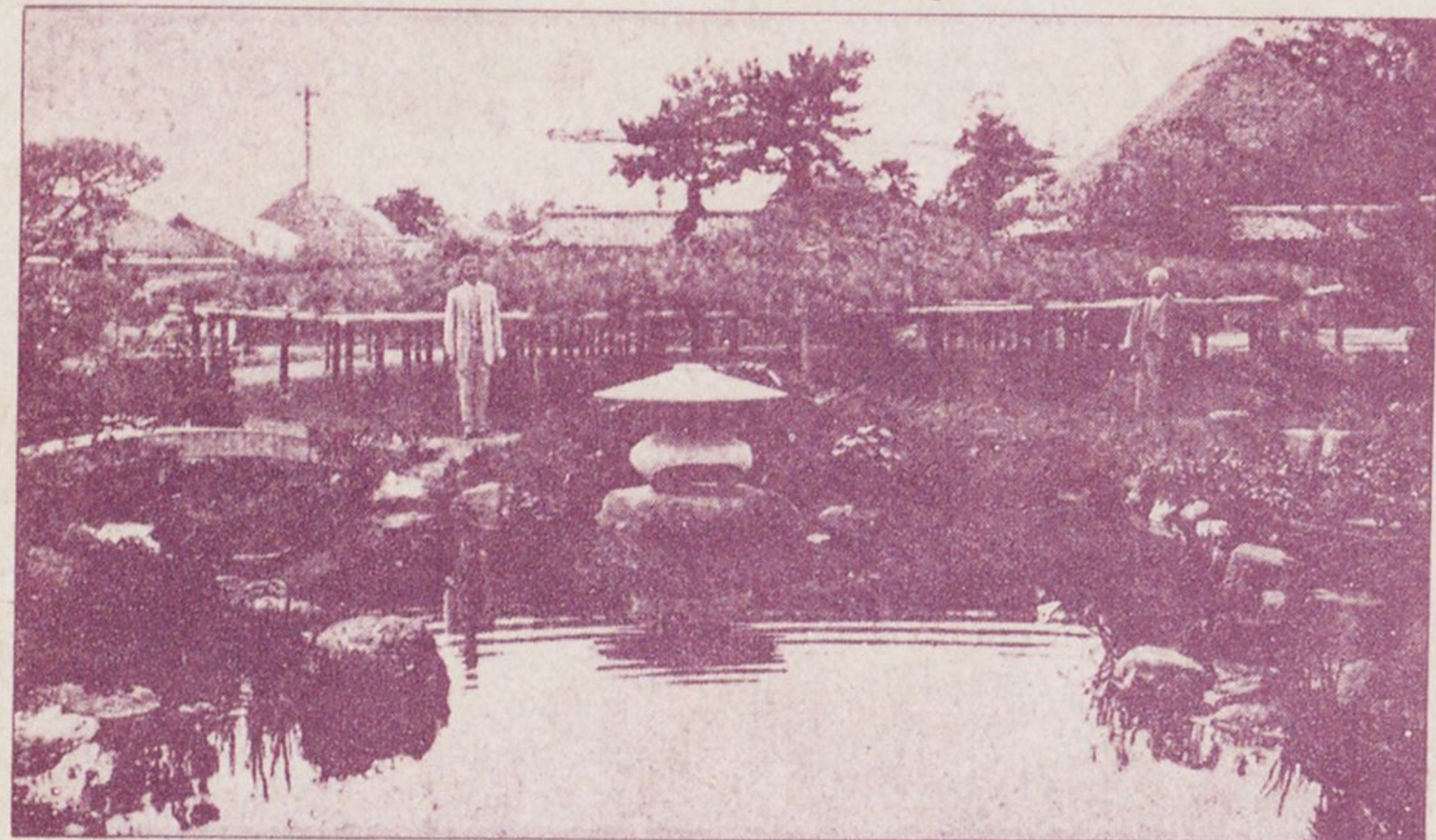
中根市之原碑……文久三年七月長州藩攘夷を斷行し、下關灣内に外國軍艦を砲撃す。徳川幕府詰問使中根市之原及び從者一行數人を特派し、長州藩を詰問す、長藩の壯士大に憤慨し八月十九日一行を小郡の館に襲ひ從者數人を斬る、詰問使中根外二人僅に危難を逃る、藩公九尾崎に船を續し中根の東歸を便にす、壯士更に追尾して中關沖海上に之を殺す、實に八月二十二日なり。星移り物換り大正二年三月十一日中原邦平秋良朝之助の兩氏追悼の爲め中關港西泊海岸に建碑す。

【名所舊跡】……史蹟名勝天然物存保……向島一名蓬萊島と稱す。東西一里七町、南北二三町、周圍四里九町本土を距る町餘の嶋嶼にして戸數六百餘人口三千餘なるが、同島にタヌキ多數棲息すること當局の知る所となり、大正十四年十二月本邦動物學の泰斗渡瀨理學博士實地に臨み、數日間調査せられ、其有望なるを認め大正十五年天然記念物保存法に依り指定せらる。同年五月、皇太子殿下本縣下行啓の際、親子三頭を捕獲し山口縣廳に於て台覽に供したり。同島は以下の名勝に富み、將來地方發展と共に一大施設を爲さんと計劃中なり。

雄嶺區……前同向島は雄嶺山の多數棲息地に於て、大正十五年一月より農林省の許可を得、獵區設定を爲し、漸次關西好獵家の知る所となり。

立岩稻荷……前同向島赤崎に立石稻荷あり、非公認社なるも靈驗ありとて崇敬者多く年中賽者踵を接し、殊に初春初午當日には縣下各地より參集者數千に及び、山間々道難沓を極む。殊に同所は周防灘を目前に控へ、遠く北九州大分縣東國東郡を直視し、毎年三月中一ヶ月間吳鎮守府所屬艦隊巡船、水雷發射其他戰術演習地となり、附近數十町の海上に巨艦の往航を見ることを得、毎年參觀の爲の山遊ひの宴を催す者多く風景殊に絶佳なり。尙ほ同島南海岸は雜魚族の繁殖夥しく好漁者釣魚

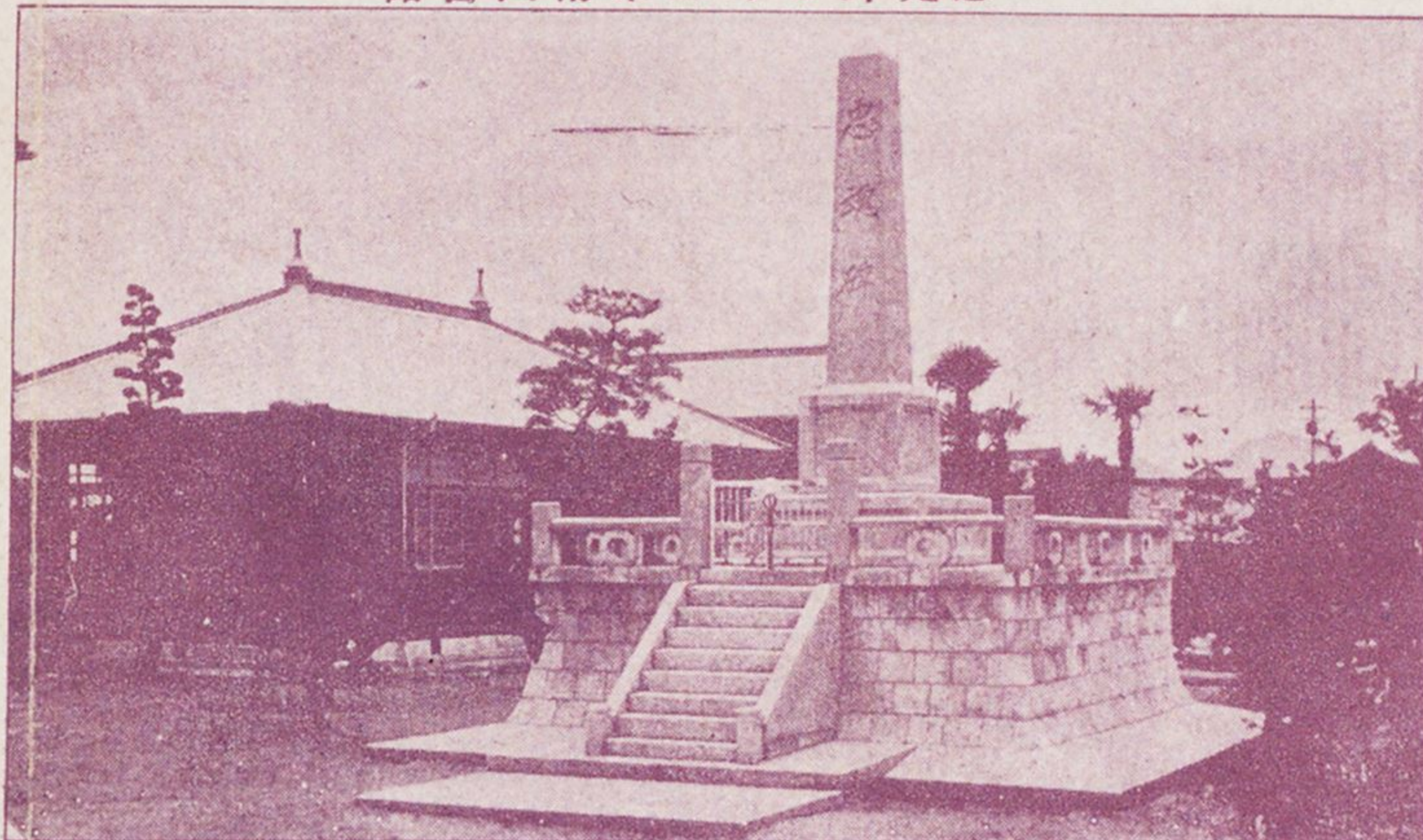
松傘の内邸氏政時



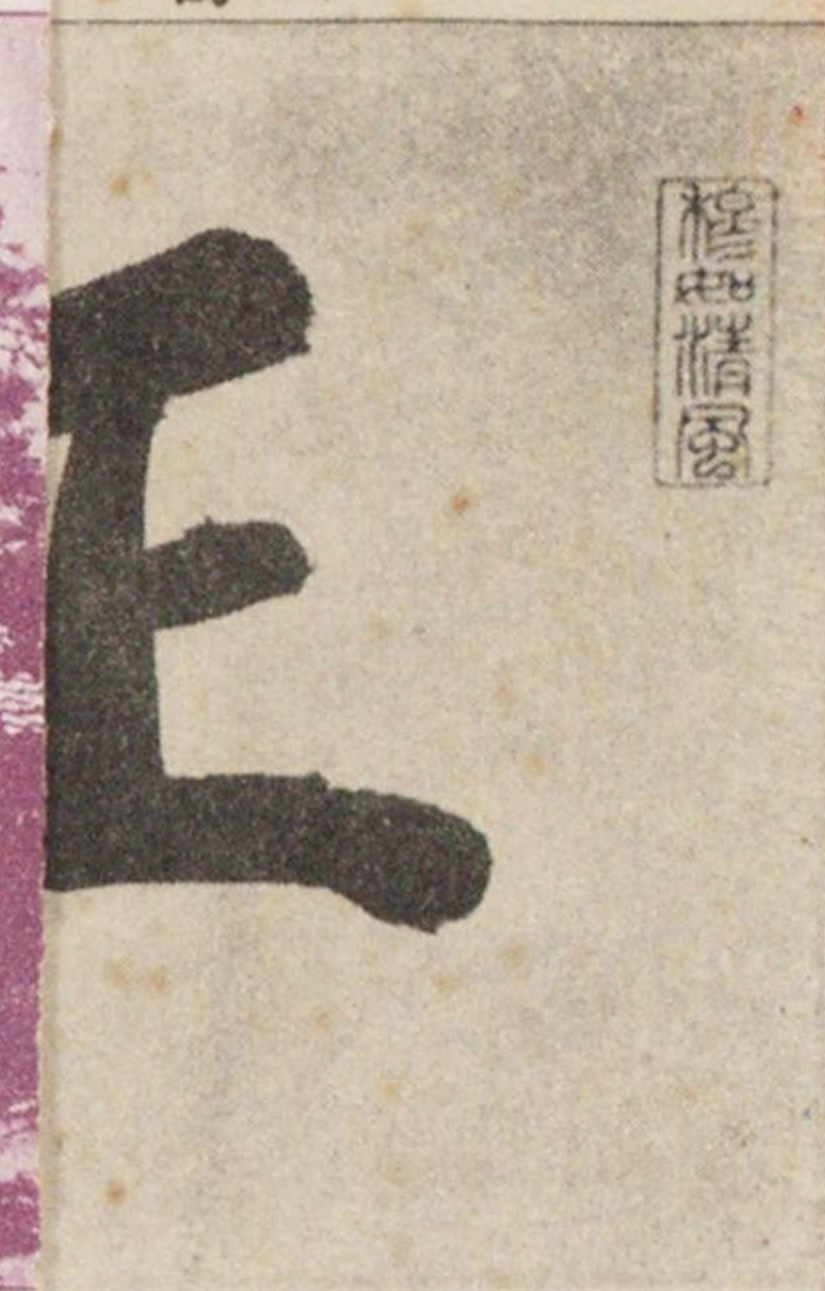
碑亟之市根中使問詰府幕



館書圖南華立町と碑魂忠



毛爵公



秋田県立図書館蔵

關東田大會所附近に公園を設け中央に建立し以て後世に傳ふ。

▲神徳仁文碑……明治十七年本町が元三ヶ村を合併し中關村とした時選ばれて村長となり、明治二十二年町制施行の際續て應選、以來明治四十二年五月迄勤続二十五年の久しきに及び、老翁の故を以て辭職せり。氏在職中勞功ありて叙勳賜盃の光榮を荷ふ、町は氏在職中の功勞に對し永久不朽の碑を町役場前に建設し後世に傳ふ。

▲忠魂碑……本町出身軍人軍属の内、明治二十七八年戦役以後戦病死者にして、靖國神社に合祀の光榮を賜はりたる英靈を町に於て重て祭祀、其盡忠報國の美名を不朽に傳へて以て之を慰め、永久に其忠勇義烈の偉風を敬仰欽慕し、國民教育上に資せん爲め、中關小學校々庭に高さ二丈六尺餘にして碑文は元帥長谷川好道閣下に請ひ、大正四年御大典記念事業として建設し後世に傳ふ。

▲中根市之頭碑……文久三年七月長州藩攘夷を斷行し、下關灣内に外國軍艦を砲撃す。徳川幕府詰問使中根市之頭及び従者一行數人を特派し、長州藩を詰問す。長藩の壯士大に憤慨し八月十九日一行を小郡の館に襲ひ従者數人を斬る。詰問使中根外二人僅に危難を逃る。藩公九尾崎に船を續し中根の東歸を便にす、壯士更に追尾して中關沖海上に之を殺す、實に八月二十二日なり。星移り物換り大正二年三月十一日中原邦平秋良朝之助の兩氏追悼の爲め中關港西泊海岸に建碑す。

▲名所舊跡……▲史蹟名勝天然物存保……向島一名蓬萊島と稱す。東西一里七町、南北二二三町、周圍四里九町本土を距る町餘の嶋嶼にして戸數六千餘人人口三千餘なるが、同島にタヌキ多數棲息すること當局の知る所となり、大正十四年十二月本邦動物學の泰斗渡瀬理學博士實地に臨み、數日間調査せられ、其有望なるを認め大正十五年天然記念物保存法に依り指定せらる。同年五月、皇太子殿下本縣下行啓の際、親子三頭を捕獲し山口縣廳に於て台覽に供したり。同島は以下の名勝に富み、將來地方發展と共に一大施設を爲さんと計劃中なり。

▲雄嶺區……前同向島は雄嶺山島の多數棲息地にして、大正十五年一月より農林省の許可を得、獵區設定を爲し、漸次關西好獵家の知る所となり。

▲立岩稻荷……前同向島赤崎に立石稻荷あり、非公認社なるも靈驗ありとて崇敬者多く年中賽者踵を接し、殊に初春初午當日には縣下各地より參集者數千に及び、山間々道難きを極む。殊に同所は周防灘を目前に控へ、遠く北九州大分縣東國東郡を直視し、毎年三月一ヶ月間吳鎮守府所屬艦隊砲船、水雷發射其他戰術演習地となり、附近數十町の海上に巨艦の往航を見ることを得、毎年參觀の爲め山遊ひの宴を催す者多く風景殊に絶佳なり。尙ほ同島南海岸は難魚族の繁殖夥しく好漁者釣魚の爲め來遊する者多し。

▲龍ノ口奇石……向島字丸山龍ノ口海岸尖端に天然の奇石あり、恰も人工を施したる龍頭の形狀を爲し古來より島居を建設し龍神と稱す。附近海岸一帯の岩石は何れも異様鱗狀形を爲し一種の地形的不思議と云ふべし。

▲時政の傘松……新前町時政氏邸内にあり、樹幹周圍十尺高さ九尺位にして枝幹周圍に繁茂生長し、地面約九十坪を覆ひ支柱百數本を立て、整然たる形狀全く大傘を擴張したるが如し、關西稀有の奇松なり。

▲中關港……同港は地形上陸岸近く、水深くして船舶の碇泊寄港地として本縣下南海岸に於ての良港なり。六千噸級の汽船は陸岸數町の所に碇泊し得べく、全國百五十三要港の一にして縣下に於ても七要港の一なり。從來其の良港なる事を世人に知られざりしに、大正十三年第五師團秋季演習の際、軍隊輸送上探索する所となりて陸軍運輸部員秘密調査の結果良港たるを知る所となり、松山歩兵二十二聯隊の歸還乗船を敢行し、豫定時間より一時間三十分早く終了し、當時陸軍運輸部員の賞讃を得、同港の國家的利用發展を促進すべく獎勵せられたり。今後陸軍運輸港に指定する豫定なりと云ふ。且つ本郡北部布設防石鐵道力山陰線に貫通の曉に於ては、東九州大分との連絡港として運輸上至便なることを當事者も認識し居りて、大正十四年衆議院に請願採擇の實例を示し居れば、右實現の曉には乗客貨物運輸交通上、下關に迂廻するより三時間の短縮にて山陰線に連絡せられ、東九州との交通者京阪地方に往復するに最大利便を得るに至るべし。本町に於ては昭和三年度に於て同港改修防波堤築造地先理立を計劃し、資金積立を爲し、今後一大發展の氣運を招致せんことを、既に大要の設計圖案作製を爲したり。

▲醫院……中關西部に波多野醫院、森川醫院。中央部新前町に松田醫院、小澤醫院。向島に阿部醫院等各町内地形的に散在し地方人の最も幸福とする所なり。尙ほ新前町に佐々木齒科醫院、赤石に荒瀬齒科醫院あり、以上何れも施療親切にして地方民の信望最も厚し。

▲旅館……新前町に中谷旅館、三谷旅館、河合旅館あり。西部中關本町に荒瀬旅館あり、何れも新築改造し親切本位薄利主義を以て旅客に最も慰安を與へ居れり。尙ほ料理屋を兼營し之れ又薄利多賣主義なり。右の外新前町に料理屋專業の山崎樓あり、前同様主義を以てす。以上各々營業上親切にして來客殷盛なり。

▲產物……▲食鹽……本町民間鹽田最近一ヶ年製產價格百四拾五萬圓に向島再製鹽工場の產額百萬圓を合し貳百四拾五萬圓の食鹽を產出す。

▲水產物……最近一ヶ年產額拾九萬貳百六拾七圓にして水產製造品に干鰯煮干を主とし年額參萬九千八百圓なり。

▲農產物……米、最近一ヶ年產額貳拾八萬參千參百九拾六圓、溫洲密柑九千八百拾六圓、蔬菜五萬九千八百四拾七圓にして其主なるもの其他本町は玉葱の適地にして年產額約壹萬圓に達し販路は關門地方を主とし且つ朝鮮各地に輸出す、出荷組合を設け年次大栽培を爲し全國各地の需用に應せんことをす。

▲酒造業……中關本町に加藤酒造場あり銘酒富士、男山は全國品評會に於て優等に入賞し、高貴御買上げの光榮を得、且つ鐵道省驛賣に指定せらる。販路縣下を主とし全國各地より嗜好せられ好評あり。

▲同山本町に本原酒場あり、銘酒養老菊泉を醸造し縣下各地に販路を有し地方に於て好評あり。

▲同山手北區に中關酒造會社あり、銘酒關の譽、向陽を醸造し、縣下各地に販路を有し地方に於て嗜好せられ好評あり。

▲向島郷ヶ崎に藤崎酒造場あり、優良酒を醸造し縣下各地に販路を有し主として地方に嗜好せられ好評あり。

▲醤油醸造……中關白濱に益田醸造場、南登樋に吉村醸造場、新前町に國廣醸造場、江ノ内に吉武醸造場、向島に御園生醸造場、同佐田醸造場、中ノ浦に内田醸造場あり。何れも優良醤油を製造し地方販賣を主とし何れも好評あり。

▲其他吳服店、雜貨店、書林、菓子店、等諸種の商店あるも大概小賣を主とするを以て之を省略す。



▲水産物……最近一ヶ年産額拾九萬貳百六拾七圓にして水産製造品に干鰯煮干を主とし年額參萬九千八百圓なり。

▲農産物……米、最近一ヶ年産額貳拾八萬參千參百九拾六圓、澁洲密柑九千八百拾六圓、蔬菜五萬九千八百四拾七圓にして其主なるもの其他本町は玉葱の適地にして年産額約壹萬圓に達し販路は關門地方を主とし且つ朝鮮各地に輸出す、出荷組合を設け年次大栽培を爲し全國各地の需用に應せん。

▲酒造業……中關本町に加藤酒造場あり銘酒富士、男山は全國品評會に於て優等に入賞し、高貴御買上げの光榮を得、且つ鐵道省驛賣に指定せらる。販路縣下を主とし全國各地より嗜好せられ好評あり。

▲同本町に本原酒場あり、銘酒養老菊泉を醸造し縣下各地に販路を有し地方に於て好評あり。

▲同山手北區に中關酒造會社あり、銘酒關の譽、向陽を醸造し、縣下各地に販路を有し地方に於て嗜好せられ好評あり。

▲向島郷々崎に藤崎酒造場あり、優良酒を醸造し縣下各地に販路を有し主として地方に嗜好せられ好評あり。

▲醬油醸造……中關白濱に益田醸造場、南蠻樋に吉村醸造場、新前町に國廣醸造場、江ノ内に吉武醸造場、向島に御園生醸造場、同佐田醸造場、中ノ浦に内田醸造場あり。何れも優良醬油を製造し地方販賣を主とし何れも好評あり。

▲其他吳服店、雜貨店、書林、菓子店、等諸種の商店あるも大概小賣を主とするを以て之を省略す。

▲交通……中央は中關港側を基點とし、町中央部を東西に三田尻驛に通ずる縣道あり、里程一里餘にして自動車一日八往復運轉し、尙ほ貸切自動車數臺設備ありて一般交通便利なり。又東部は向島對岸を基點とし三田尻驛に通ずる自動車あり、里程一里弱にして一日八往復運轉し、同方面一般交通の利便を圖る。西北部は三田尻驛を基點とし本町の一部を経て西浦村に至る。一日六往復の自動車運轉し町一圓を通じ鐵道に連絡する交通施設完備し居れり。近く防石鐵道の臨海線を中關に延長すべく、豫定線は既に其筋の許可を得、測量を終へ、一部敷地は買收し居れり。同鐵道完成の上は山陰線に連絡し、中關港より東九州大分縣北端に連絡せば海上最近距離にして一般の交通上最大利便を得ん。中關港改修施設と共に將來の大計を樹立せん。

筆一てへ添に繪

殿様も若衆もゆめの中關、千石舟に振袖や、戀を廓の伊達様、花も散るぞへ浪の上、千兩役者の引幕に千鳥が鳴いてくるわいなア……見よ山陽第一の繁華、その全盛を極めたる昔の面影、今や何處、現在の中關は、たゞもう靜かな詩のような、漂々とした沙濱の町つゞき……彼の謠曲松風の一節にも、

「面白や、馴れても須磨の夕まぐれ、海士の呼聲幽にて、沖にちいさき漁船の影かすかなる月の顔、雁のすがたや友千鳥、野わけ沙風いづれも」

實に、かゝるささやかな秋なりけり、あら心すこの夜すがたやな……と云ふのがある。

私は本島新聞執筆にあたり、中關町長、加藤氏の懇招を拜して、初めてこの沙濱の景色に接した時、直覺的に、この名文を思ひ出し、折からの秋の夜を、いかに深しき深くおぼえた事か……情緒頗る痛切なものがあつたのである。

ぬ根なし草にして、そもや三田尻の何處に、中關の教科書にも、この中關の境を接して相隣する、三田尻の名を冠してあるが、何ぞ知らむ、思ひもよらぬまた、甚しく、私は初に此等の事實を明らかにし、文部當局に於ても、よろしく右教科書を訂正するの要ありと感ずるものである。

見渡せば霞棚引く瀬戸の海、蓬萊の島かげには鏡の如き灣光に抱かれて、豪壯雄偉、正に世界に於ける三大製鹽工場の一つが肅然として建設され、儼はりもなき中關町の誇りを證している事である、また、もう一つ私が特に珍らしく思つたのは、この蓬萊島の一端が内務省から天然紀念物保存法により「狸の産地」として嚴重に指定されている事である、曾て私は政府の命により鐵道省から發行の旅行案内を書く爲めに、屢々日本全國を旅行し、多少の見聞をもつものであるが、未だ「狸」の名産を以て、國家が保護する所なを聞いた事がない、尤も北海道や樺太で一枚何千圓とかする、黒狐の養狐場は見えて來たが……何様狸は珍らしい、そば降る雨の夕まぐれ、ばつちよ笠に徳利をさげて、酒買ひに行く彼の姿は、優に滑稽にしてまた頗る可憐な畫題である。

このほか中關町に至るさう、歴史と傳説に富み、いづれも詩であり、歌ならざるはなく、また、その風光の優れたる事も、この蓬萊島が、周圍六里、青松、奇岩、彼の日本三景中隨一と賞さる、安藝の宮島と殆んど姉妹の面影あるに於て、一層歴然たるものがある。

現町當局は云ふ。やがてこの島に一大遊覽道路を敷設し、爽快なる自動車のドライブを以て、全島を一週するの將來を期す……私は實に双手を擧げて、その實現の一日も早やからむを念じ、謹んで満腔の祝福を捧ぐる次第である。

終りに臨み、私の今日を恵み賜ひたる、恩師鹿子木孟郎先生の筆硯、爽やかなるを祈り而して更らに本町長の清賜を拜謝す。

昭和三年秋

日本ライン藤江畫室にて

吉田初三郎識

昭和三年十月二十八日印刷
版權所有・複製嚴禁
昭和三年十一月一日發行

著作權所有者 京都市外山科みさき
發行所 吉田初三郎

編輯兼印刷所 觀光社出版部
發行所 中關町役場

山口縣佐波郡

秋田市立図書館

いざくはをぬんとていしはみすれはみすの
袖を結んで肩はぬりはぬみとハおもい

ふくまともも 女車 ありせうい

るか男はく 芦ふの田勢こそハ
まきまき四方のあふと音割てお

おふとすごさん

り月と

